



令和5年度岩手県立大学看護実践研究センター事業 看護分野の情報管理と情報教育について考える研修会

責任者：遠藤 良仁

共同者：岡田 みずほ

活動概要

看護DX推進を目指した研修会を実施。IoTやAIなどの先端技術の看護現場への活用に関する理解を深める学習機会を作ることで、看護分野の革新に貢献する看護職の育成とコミュニティづくりを目標として活動している。2年目を迎える本年は、看護部門の情報担当者の役割および情報教育をテーマに2回開催した。

活動成果

のべ32名の参加者が参加。未来志向で建設的な議論を活発に行った。AIやICTの導入の必要性への認識が深まるとともに、医療情報システム運用上の課題や先行する海外の情報化の現状を把握する必要性が話題にのぼり、看護分野のデジタル変革への一歩となった。

第3回

話題提供

交流会

「看護部門の情報担当の役割って何だろう？
～看護部門に情報担当って必要なの？～」

日時 ▶令和5年9月30日(土) 10:00～12:00

講師 岡田 みずほ 先生

岩手県立大学看護学部 教授
(認定看護管理者)

講師 阿部 洋子 先生

石巻赤十字病院
情報マネジメント課看護師長

第4回

話題提供

交流会

「基礎教育から新人教育へつながる情報教育
～Z世代に何を教える？～」

日時 ▶令和5年11月18日(土) 10:00～12:00

講師 菅蒲澤 幸子 先生

岩手医科大学看護学部 教授
(認定看護管理者)

講師 佐藤 光恵 先生

岩手県立磐井病院／クリニカルパス委員会 副委員長／パス認定士

参加者の声

- 「先進的な活動をしている施設の事例を知り、地域格差温度差を感じることができた。」
- 「医療情報システムを運用していくにあたり、現場のスタッフと運用に決定権のある人との相互のやり取りが重要であるとわかった。」
- 「価値観をより良く変えることができた。グループワークでそれぞれ話し合われたことが異なる点が面白かった。」
- 「他施設の様子を知ることができて貴重な機会でした。」
- 「医療現場で身近にAIやICTの導入、発展が進むであろうこと、臨床の現場での理解や活用が求められるであろうことを感じた。」
- 「当院ではデジタル化が進まないことが問題です。」
- 「パス研修が課題となっている。」
- 「(米国の看護情報の分野に関する状況を紹介したことに対して)現場の現状をもっと知りたい。」